



ロッキャーバレー市長とオンライン対談を実施

本市は平成6年からオーストラリアのロッキャーバレー市と「上尾市中学生海外派遣研修事業」をきっかけに四半世紀にわたり交流を続けています。

しかし、昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、海外派遣研修は残念ながら中止となりました。

私は、長年にわたり築いてきた両国、両市の交流を中断することなく何とかして継続していきたいという思いから、ロッキャーバレー市のミリガン市長とのオンライン対談を、昨年12月18日に行いました。

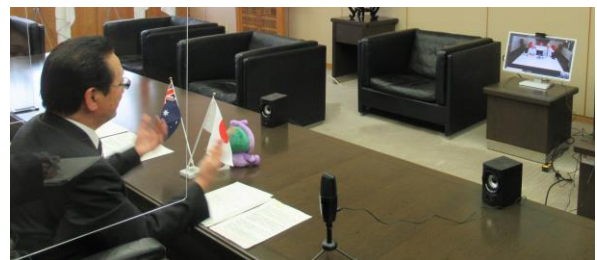
対談では、コロナ禍の状況や昨年9月にオーストラリアで発生した森林火災の状況、延期されたオリンピック・パラリンピックについてなど、両市の近況を語り合いました。オンラインでの対談でしたが、顔を合わせ直接声を聞くことができ安心したのと同時に、困難な状況下においても心を通わせ、話ができる喜びを感じました。

現在、市教育委員会では、ロッキャーバレー市との間で、学校同士のオンライン交流に向けた準備を進めています。私とミリガン市長との対談でも、交流を積極的に推進していく意思を確認し合いました。一足先に芝川小学校において実施したオンライン交流では、児童から、「これを機に外国のことをもっと知りたい」、「このような機会があったらまた交流したい」など、前向きな意見が多くありました。

今後も、市教育委員会と連携しながら、全ての小・中学校に整備したICT環境を活用し、普段から子どもたちによる国際交流を進め、両市の友好関係をさらに深めていきたいと思えます。



芝川小学校でのオンライン交流の様子



ミリガン市長とのオンライン対談で両市の近況を確認

市長 畠山 稔